

讚岐國
琴平山
金比羅宮神寶目錄

謝
官
幅
紙
著

第一册



大邑年運承
 走國到百
 寧時枝
 一息象誇
 向夕年運承
 之南海畔化來
 丁巳山

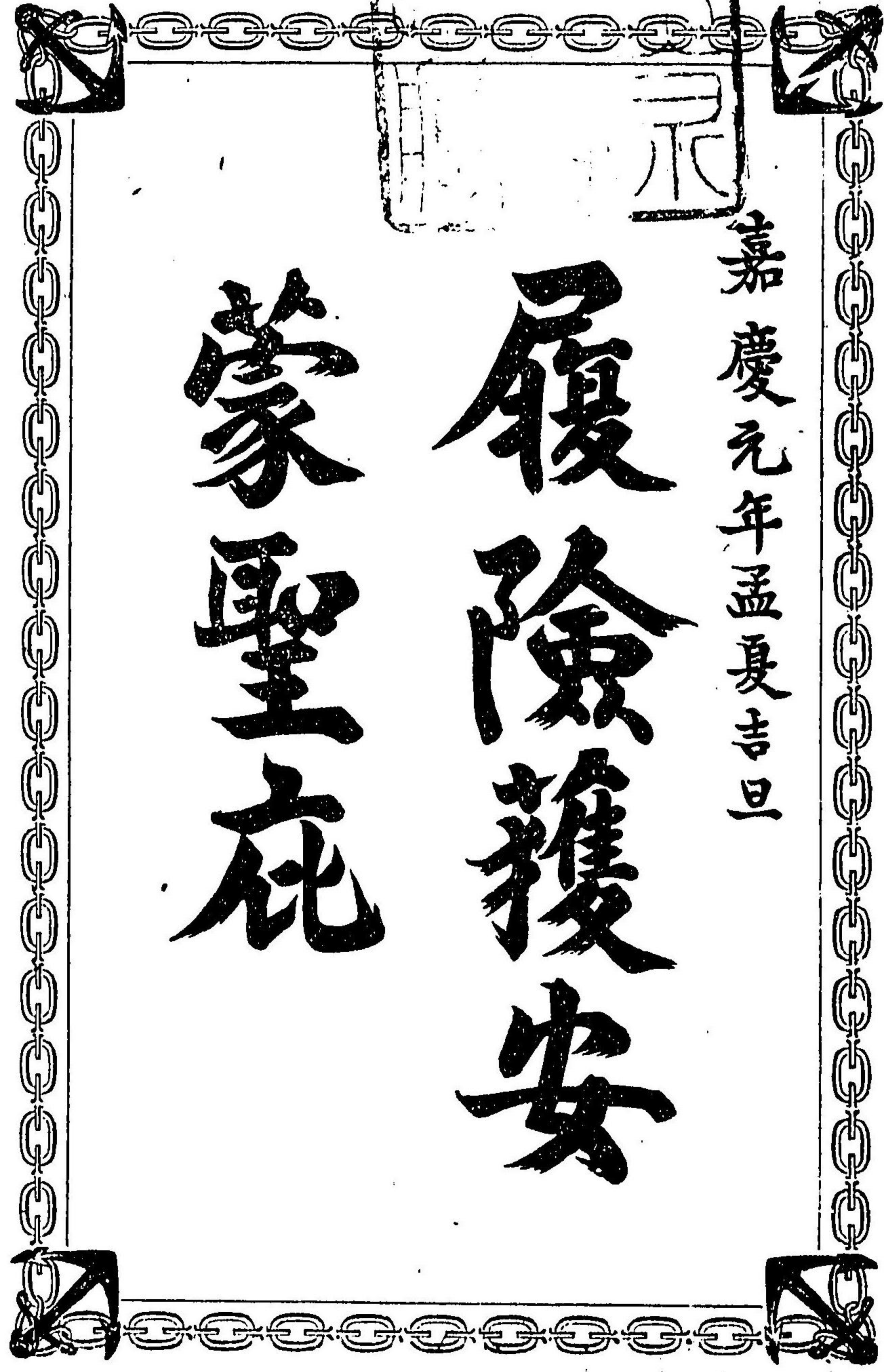


嘉慶元年孟夏吉日
 履險獲安
 蒙聖庇

嘉慶元年孟夏吉日

履險獲安

蒙聖庇



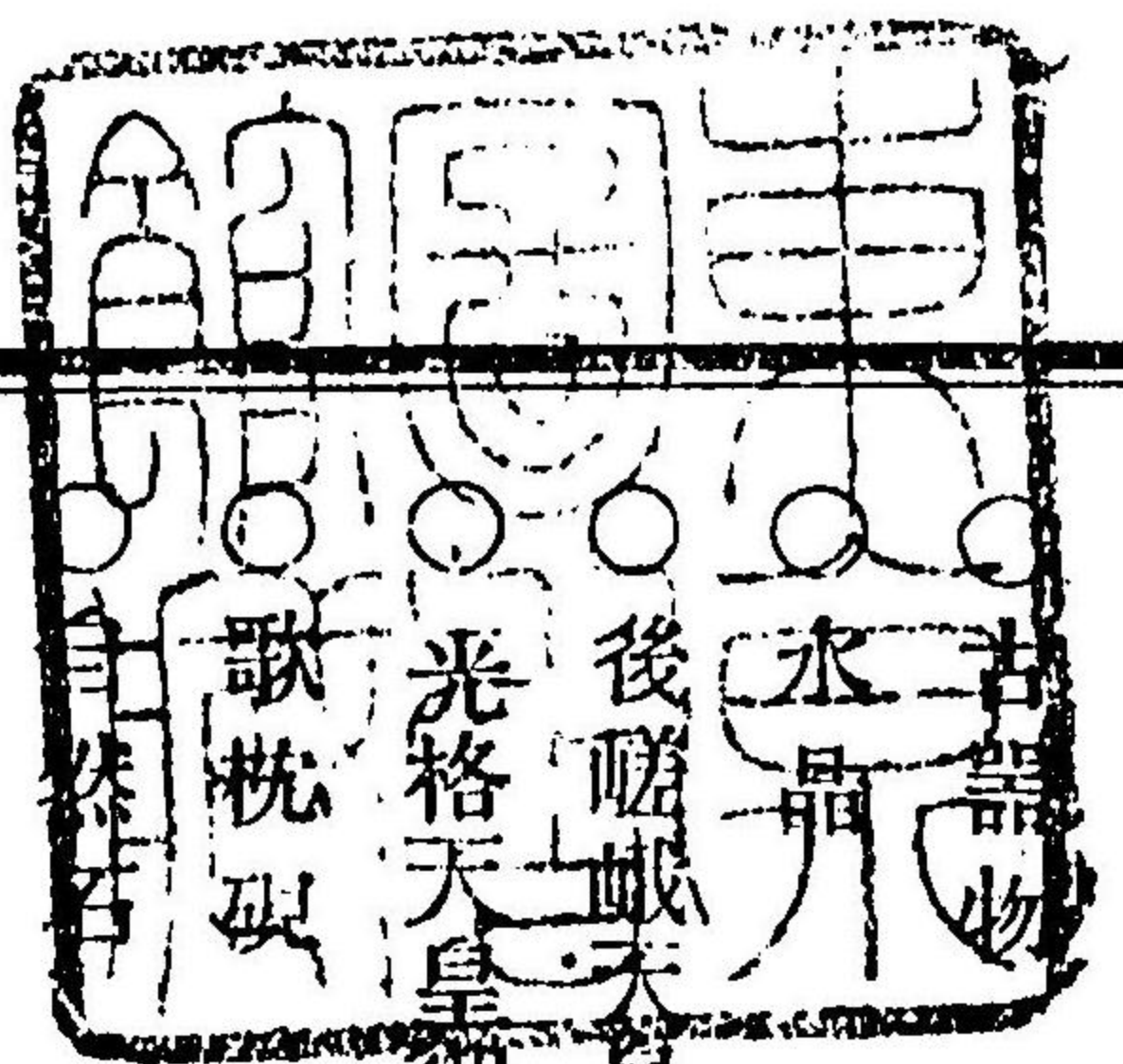
渡閩返國 報神恩

琉球國比嘉 仁屋卯立

金刀比羅宮神寶目錄第貳冊

○第五類

明治九年當國多度郡生野村
字山ノ間ニテ所得



- | | | | |
|--------------|-----------|---|---|
| ○ 雷爪 | 同 | 一 | 筒 |
| ○ 鹿玉 | 同 | 一 | 筒 |
| ○ 天狗爪 | 社務所傳來 | 二 | 筒 |
| ○ 絹張燈籠 | 清人劉雲臺寄附 | 二 | 對 |
| ○ 纏羊角燈籠 | 清人荷舟徐恭寄附 | 一 | 對 |
| ○ 臘石龜 | 同 | 一 | 筒 |
| | 同 | 一 | 筒 |
| | 同 | 一 | 筒 |
| 歌枕硯 | 傳ニ云清少納言所持 | 一 | 筒 |
| 牡丹獅子蒔繪 | 社務所傳來 | 一 | 筒 |
| 淨牡丹模様 | 社務所傳來 | 一 | 對 |
| 古器物 | 社務所傳來 | 一 | 耐 |
| 水晶 | 社務所傳來 | 一 | 耐 |
| 後醍醐天皇御寄附青磁花瓶 | 社務所傳來 | 一 | 耐 |
| 光格天皇御硯箱 | 社務所傳來 | 一 | 耐 |

數種

○猛獸牙			社務所傳來	一箇
○獅子牙			同	一箇
○馬角			同	一箇
○翁面	作者不詳		同	一箇
○大癡見面	德若作		同	一箇
○皺尉面	作者不詳		同	一箇
○納蘇利面	古作		同	一箇
○採桑老面	古作		同	一箇
○大判金	伊達宗紀寄附			一枚
○大判金	松平讚岐守賴重寄附			一枚
○大判金	松平讚岐守賴豐寄附			一枚
○小判			社務所傳來	廿八枚
○南鐮大判	寄附人不詳		社務所傳來	一枚
○貳匁銀			社務所傳來	一箇

○秋田銀	四匁六分	同	二枚
○南銀	八片	同	二枚
○丁銀		同	一枚
○拾兩銀		同	一枚
○壹分銀		同	四枚
○壹朱銀		同	四枚
○小玉銀		同	十四箇
○賀易銀		同	二枚
○新貨壹圓		同	二枚
○同五拾錢		同	二枚
○同貳拾錢		同	二枚
○同拾錢		同	二枚
○同五錢		同	二枚
○大黃		同	二枚

○後水尾天皇御寄附大判金	硝子入	社務所傳來	一枚
○大判金	戶田大和守寄附		一枚
○慶長小判	下總國中谷市郎寄附		一枚
○金塊	目方百四十匁 寄附人不詳		一箇
○古壹分銀		社務所傳來	二枚
○貳分金			二枚
○新壹分銀			二枚
○貳朱金			一枚
○壹朱銀			一枚
○真文小判			二枚
○新貨五圓			二枚
○同貳拾圓			一枚
○同拾圓			一枚
○同貳圓			二枚

○同壹圓			同	二枚
○新小判			同	二枚
○正字小判			同	二枚
○大判金	伊豫國小西某寄附			一枚
○小判金		社務所傳來		廿八枚
○甲州金	寄附人不詳			百六拾九箇
○草文小判				三枚
○第六類				

○奉物日記	慶長二十年十月	社務所傳來	二冊
○當宮神事記	觀應元年十月		二冊
○崇德天皇宸翰名號添書和歌	松平可正詠		一冊
○吉茄元百首	吉田兼行筆		二冊
○崇德天皇御影堂法樂和歌			一冊
○伊勢物語	筆者牡丹花		一帖

○松山奉納百首和歌	九條植通公詠	社務所傳來	箱入	一卷
○和歌	實隆卿筆	同	箱入	一卷
○和漢朗詠集	筆者未詳	同	箱入	一卷
○松山百首和歌	同	同	箱入	一卷
○禁裏仙洞御所日記	同	同	箱入	一卷
○保元平治物語	松崎保寄附	同	箱入	一部
○松山短冊	頓證寺御法樂	社務所傳來	帖	一帖
○古短冊		社務所傳來	帖	二帖
○松山神宮記		同	卷	一卷
○筑前兵祖廟記	淺田右京	同	卷	二卷
○崇德天皇奉納百首		同	卷	一卷
○尊圖法親王御筆古歌		同	卷	一卷
○古歌	色紙 定家卿筆	同	枚	一枚
○謠詞	大將軍源家光公筆	社務所傳來		

○歌合懷紙屏風	狩野元信筆	社務所傳來	双
○淡黑山水圖屏風	同	同	双
○全	同	同	双
○蘆白鷺圖屏風	狩野永徳筆	同	双
○富山社頭并大祭行列圖屏風	清信筆	同	双
○野馬圖屏風	山月筆	同	双
○西湖八景之圖屏風	雪舟筆	同	双
○富士山杉樹圖屏風	狩野永徳筆	同	双
○全	狩野元信筆	同	双
○源氏物語圖屏風	土佐光元筆	同	双
○蘆白鷺圖屏風	狩野永徳筆	同	双
○聯	清人荷舟除茶寄附		對
○全	清人程赤城寄附		對
○全	琉球國仁屋寄附		對

- 花鳥縫籠 松平談岐守賴重寄附 一垂
- 梅樹之圖 東京高橋由一筆 社務所傳來 一面
- 鎧袖百萬塔之圖 同 一面
- 相模國金澤海面之圖 同 一面
- 琴平山眺望之圖 同 一面
- 比叡艦之圖 同 一面
- 一ノ谷之圖 同 一面
- 額 伊豫國向井和平寄附 一面
- 三十六歌仙扁額 元和四年閏三月十日 生駒讚岐守正俊寄附 卅六面
- 東京淺草川落暮之圖 東京高橋由一筆 社務所傳來 一面
- 橫濱本牧海岸之圖 同 一面
- 東京中洲月夜之圖 同 一面
- 東京愛宕山遠望之圖 同 一面
- 東京木下川之圖 同 一面

- 東京芝浦夕陽之圖 同 一面
- 相模國金澤海面之圖 同 一面
- 東京隅田川堤雪之圖 同 一面
- 東京吾妻森之圖 同 一面
- 肥後國人吉兵火之圖 同 一面
- 東京洲崎魚船之圖 同 一面
- 東京山谷堀暮雨之圖 同 一面
- 東京關屋里之圖 同 一面
- 六歌仙扁額 有馬玄蕃頭賴利室清涼院寄附 六面
- 額 琉球人幸周寄附 一面
- 三十六歌仙扁額 右七ヨリ十八迄狩野牧心齋安信筆 慶安元年八月松平右京大夫源賴重寄附 卅六面
- 全 十八面狩野自適齋信筆 十八面狩野探幽齋守信筆 社務所傳來 卅六面
- 牡丹孔雀之圖 吳周之提筆 一軸
- 野馬之圖 狩野永真筆 一軸

○雲龍之圖	陳所翁筆	社務所傳來	一	軸
○蕪之圖	僧豐村筆	同	一	軸
○蘇武別季陵之圖	趙仲穆筆	同	一	軸
○白鷹之圖	徽宗帝筆	同	一	軸
○茄子之圖	宗牧溪筆	同	一	軸
○野牛之圖	狩野元信筆	同	一	軸
○知章醉騎之圖	同	同	一	軸
○竹雀之圖	大將軍源家綱公筆	同	五	枚
○住吉云々古歌	攝政藤原其經公筆	同	一	軸
○書簡	中納言源吉通卿筆	同	一	軸
○古書畫	同	同	一	帖
○牡丹之圖	狩野探幽齋守信筆 松平藤忠守賴聰寄附	同	一	軸
○風虎之圖	狩野守信筆	社務所傳來	一	軸
○福祿壽之圖	王元章筆	同	一	軸

○御即位器服圖	卷物	若狹守紀宗直	社務所傳來	七	幅
○當山十二景詩	伊藤東涯書	同	一	卷	
○全	皆川愿書	同	一	卷	
○當山十二景圖	五山僧	同	四	卷	
○全	書狩野永真筆贊學士	同	三	卷	
○當山十二景圖	書狩野時信筆 贊林齋宇	同	一	軸	
○王昭君之圖	大僧正祐常筆	同	一	軸	
○古語	筆者不詳 酒井備後守寄附	同	一	軸	
○全	松平滋岐守賴重筆	社務所傳來	一	軸	
○和歌	西行法師筆	同	一	軸	
○全	寂蓮法師筆	同	一	軸	
○全	藤原定家卿筆	同	一	軸	
○書簡	大納言源義直卿筆	同	一	軸	

○第七類

- 蒸氣器械雛形 社務所傳來
- エレキ唧筒 同
- 渾天儀 同
- 呼鐘 同
- 蒸氣車雛形 同
- 療治エレキ 同
- 水平儀 同
- 避雷針 同
- 摩擦エレキ 同
- 傳話機 同
- 電信機 同
- 皮剝機械 同

〔以下次冊ニ載ス〕

金刀比羅宮神寶目錄第二冊附記 靈驗廣報摘録

○ 讃岐守頼宣朝臣危急を免脱たまふ靈話

國守源頼宣朝臣と深く金刀比羅宮を崇め念じられき疾にも彼御小守を肌驅放さず被て在しぬ茲に家臣何某なるもの拔群なる砲術の達人にして當時備郎機を鑄造ければ公許と得て之を驗し試んど城下に近き香西といふ海濱に一場の砲臺を築き其日を期めて放發せんと觸らるゝにそ其準備嚴密なりし大守にも一覽せんと命出され砲臺を十四五間も距離たる場に假屋を設け帳うち廻し此にして御覽はす時に何某發砲の部伍備足り號令を傳て發出しけるは宛然雷の奔騰か如し山鳴り海も湧かど斗り響き潮りぬ然れども的を弛さねを眼を開て閉くが如く瞬時に鳴と鎮駁けり大守殆んど感悅の餘り尙一發を望ませたまふ何某非臆彈丸を投て今や放たんと傲ける時何地よりや出来けん黄衣にして白髪なる巍然老翁が衝と馳進て大守を脊擔五十歩の外へ退避申たり其際もあらせず大砲に口火を注げは何にやしけん砲と脇さまに破裂して亂槍狼藉四逸縱横二三十歩がその間烈火飛散り百千の雷の墮たる如く即死の者も多かりしが中に大守と此動亂夢の如く聞しめされ茲に始めて黄衣の翁が抱救しることを覺へ生殘さる家臣儕と城に歸りて今日の端末を語りて黄衣の翁が琴平山の方へ退去しと正しく琴平宮の冥助也と彼御小守を出して見るに果して守の左の方一寸計り燻りて有りしとぞ是を見て各位悚然として驚感しにけり

○琉球の國人難風を遁れし事
 寛政八年に琉球國の使節吾朝に來貢の途中船陸摩の沖を過る折柄東風
 強く吹起り逆浪天を衝く計なるにぞ乗組の者一同必死の力を極て艦を
 押し楫を操れども其詮なく己に轉覆の患に罹らんとせし時梶取の某發
 言して曰く傳聞く大日本國蹟岐國に金刀比羅の大神と申す神のましく
 て靈驗真に炳焉なるが取譯海上風波の危難を救ひたまふとぞ皆々此大
 神に祈願をなし今一層死力を盡して船を楫と如何にとありしに皆々此
 議に左祖し異口同音に大神の御名を唱へ此危難を救ひたまへ助けたま
 へと祈念を凝しけるに奇ある哉妙なる哉今まで咫尺も辨せざりし常間
 の空も忽に晴れ風も次第に和に成りやがて陸摩の國山川の濠に若き夫
 より陸路を江戸に下りて首尾好く奉貢の事を終て目出度歸國せしが其
 年の十二月此擁護神徳に報ゆる爲とて榜聯一對を遙々本社へ奉納せし
 が今猶本社構内なる寶庫に收めてあり其圖左の如し

履險獲安蒙聖庇

渡間返國報神恩

明治十七年三月廿六日版權免許
 同 十八年四月十日出版

定價金五錢

著述人

愛媛縣平民 宮崎康斐

出版人

同 縣士族 新居政
 同國香川郡 九十二番地

發兌所
 同 嶺岐高松濱ノ丁 新居活版所
 同 琴平小坂 沼野仲助
 同 琴平新町 福岡清五郎

嶺岐國金刀比羅宮神寶目錄

第一册 刻成
 第二册 近刻
 第三册 近刻
 第四册 近刻
 第五册 刻成

金

金